

# 印旛沼クリーン大作戦



無事終了しました

8月10日、11日の2日間、NPO法人国際ボランティア学生協会 (IMUSA) が主催し、印旛沼流域水循環健全化会議の共催により、神崎川で開催された「特定外来生物 ナガエツルノゲイトウ」の駆除を行う『印旛沼クリーン大作戦』が無事終了しました。

「ナガエツルノゲイトウ」は、印旛沼に流入する河川等で大きく成長し、大和田機場のポンプの排水障害や稲作りに支障を来すなど印旛沼周辺地域にとって深刻なリスクとなっています。

これらのリスク軽減のため、全国から集まってくれた大学生に地域の方を含めて述べ約 270 人がボランティア活動として、泥だらけ、汗だくとなって奮闘し、約 11 トンにも及ぶ群落を駆除しました。昨年の約 50 トンに比べて大幅に減少したのも 3 年連続した取り組みの成果です。

千葉用水総合管理所も、船を含めて参加し、学生の皆さんと駆除活動や交流を行いました。IMUSA の活動は今回が最後となりますが、これらのリスクは一朝一夕に解消できる課題ではなく、将来にわたっての継続的な駆除が必要と考えています。印旛沼周辺地域の方々が自らのリスクとして理解を深めていただくと共に、地域活動として少しでも輪が広がれば大変ありがたいことです。

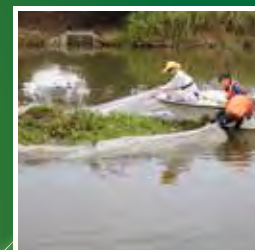
ナガエツルノゲイトウって??



特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」は、ナデシコ目・ヒユ科に分類、南アメリカ原産で、北アメリカ・アジア・オセアニア・アフリカに分布しています。繁殖力が強く、生態系を脅かすなど世界中で侵略的な雑草となっています。水面上にマット状に繁茂し、大雨の時に群落のかたまりのまま大和田機場へ流れ着き、印旛沼の水位を下げる排水ポンプのスクリーンの目詰まりによる排水障害が発生することがあるほか、農地へも侵入し、営農への影響が生じるなど年々深刻な問題となっています。



大和田機場に流れ着いたナガエは昼夜問わず除塵します



みずしげんきこう  
**独立行政法人 水資源機構 千葉用水総合管理所**  
住所: 千葉県八千代市村上3139 千葉用水  
TEL: 047-483-0722  
千葉県の水がめ印旛沼を守り、洪水被害から地域を守ります